

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西鉄香椎照葉7丁目計画(住戸棟)	階数	地上44F
建設地	福岡市東区香椎照葉7丁目27番11	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	1,136 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2019年3月18日
敷地面積	9,441 m <sup>2</sup>	作成者	伊勢原
建築面積	873 m <sup>2</sup>	確認日	2019年3月20日
延床面積	31,995 m <sup>2</sup>	確認者	平田



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 87% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 87%

④上記+ 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.0

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・アイランドシティの中心地である香椎照葉7丁目地区における、約290戸の超高層マンションとその住人が利用する自走式駐車場計画。		その他
<b>Q1 室内環境</b> ・シックハウス対応として内装仕上げ材のほぼ全てをF☆☆☆☆で行った。 ・開口部遮音性能 T-2以上を確保した。	<b>Q2 サービス性能</b> ・高層マンションの地震への対応として免震構造を採用。 ・閉鎖的になりがちな共用空間に対して住人同士の交流の活性化を図るために4層ごとに植栽のあるコミュニティガーデンを設置している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・緑地及び通り抜け通路を設け、街区を中心とする近隣住民との積極的な交流を図れる空間を提供している。 ・敷地面積の30%以上を樹木、芝生で緑地化を図っており、周辺地域に対して開放的な空間を提供している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・主用途である共同住宅住戸は電気・ガス併用方式でありエネルギー消費が多い給湯方式は高効率潜熱回収ガス給湯機を採用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・敷地内にできるだけ多くの緑地を計画した。 ・敷地内及び建物の雨水の一部をレインガーデンによって処理することで雨水の流出ピークをずらし、インフラへの負担を軽減する計画とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・周辺地域への圧迫感を抑えるよう敷地周辺の建物スケールに配慮した建物配置計画を行い、日照や通風など周辺の環境への影響も考慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される